

ポスター発表 (10階 ホール)

奇数番号コアタイム： 3月25日 11:00~12:00
偶数番号コアタイム： 3月26日 11:00~12:00

1. 草地生態・システム分析・緑地環境

P01	夏播き牧草の被度に及ぼす草品種と刈取りの影響 ○東山雅一・魚住 順・内野 宙・出口 新・嶺野英子 (農研機構東北農業研究センター)
P02	除染作業をした後の傾斜畑における秋播き牧草種の植物被度への影響 ○東山雅一・好野奈美子・浅井元朗・太田 健 (農研機構東北農業研究センター)
P03	3軸加速度センサーを用いた放牧牛の姿勢及び行動の解析 ○板野志郎1・遠藤理弘2・田中繁史1 (1新潟大・2競走馬リハビリセンター)
P04	冬季におけるモンゴル放牧ヒツジの摂取エネルギー推定 ○吉原 佑1・古戸翔也1・Luo dian2・伊藤健彦3・梅村和弘4・篠田雅人2 (1三重大・2名古屋大・3鳥取大・4北農研)
P05	UAV空撮画像を用いた採草地におけるクサヨシ繁茂場所の検出 ○吉利怜奈1・渡辺也恭1・林 志炫1・坂上清一2・八木隆徳2・森 公象3 (1西農研・2北農研・3家畜改良センター十勝牧場)
P06	地表面分光反射計測による植物種多様性の高い放牧地の草量推定 ○川村健介1・小倉振一郎2・八代田真人3・林 志炫4・吉利怜奈4・安田泰輔5・黒川勇三6・小櫃剛人6 (1国際農研・2東北大・院・農・3岐阜大・4応用生物・4西日本農研・5富士山研・6広島大・院・生物圏)
P07	山梨県における侵略的外来種アレチウリの分布と侵入予測 ○安田泰輔1・渡邊 修2・川村健介3 (1山梨県富士山科学研究所・2信州大学学術研究院農学系・3国際農林水産業研究センター)
P08	半自然草地におけるドローン空撮画像の可視化手法の検討： 群落高の色相への変換 ○安田泰輔・杉田幹夫 (山梨県富士山科学研究所)
P09	UAV搭載マルチスペクトルカメラを利用した放牧管理法 ○林 志炫1・渡辺也恭1・吉利怜奈1・梅田直円2 (1農研機構西日本農業研究センター・2農研機構本部)

2. 造成・管理・栽培

P10	ディジットグラスおよびバヒアグラスの越冬性 ○大谷一郎・堤 道生・寺井恵子 (農研機構西日本農研)
P11	飼料用トウモロコシ不耕起栽培を活用したアレチウリ防除技術 ○佐藤 真1・山形広輔2・尾張利行3 (1岩手畜研・2岩手県農林水産部畜産課・3岩手農大)
P12	道央とオホーツク内陸部におけるガレガの夏季播種と刈取り危険帯及び栽培実態調査 ○廣井清貞1・佐藤広子1・大塚博志2・安達美江子2・竹田芳彦2・岩淵 慶2・奥村健治1 (1農研機構 北海道農研・2ホクレン)
P13	トウモロコシのミルクライン降下程度と子実水分含量の推移 ○佐藤 尚・黄川田智洋 (北海道農業研究センター)
P14	8月の北海道における蜜源確保に向けたクローバ開花に有効な寒地型牧草地の植生管理 ○小路 敦 (農研機構・北農研)
P15	オーチャードグラスとペレニアルライグラスの混播栽培における播種割合の検討 3. 札幌における5年間の試験結果 ○眞田康治1・安達美江子2・道場和也2・竹田芳彦2・田村健一3・田瀬和浩1・秋山征夫1 (1農研機構北海道農研・2ホクレン・3現農水省農林水産技術会議事務局)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月26日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表 (10階 ホール)

奇数番号コアタイム： 3月25日 11:00~12:00
偶数番号コアタイム： 3月26日 11:00~12:00

2. 造成・管理・栽培

P16	オーチャードグラス「えさじまん」とペレニアルライグラスの混播栽培 2. 採草放牧兼用における利用2年目の生育特性 ○眞田康治1・田村健一2・秋山征夫1 (1農研機構北海道農研・2現農水省農林水産技術会議事務局)
P17	サイレージ用トウモロコシ (<i>Zea mays</i> L.) の畝立て播種における留意点 ○菅野 勉・森田聡一郎・赤松佑紀・須永義人・住田憲俊・川地太兵 (農研機構畜産研究部門)
P18	根釧地域におけるチモシー、メドウフェスク、オーチャードグラスの生育に対する播種時期および播種量の影響 ○松本武彦 (道総研根釧農試)
P19	栽植密度と稔実初期の台風がファジービーンの子実生産に及ぼす影響 ○飛佐 学1・上野詩織1・井戸田幸子1・石井康之1・西村慶子2・大木場 格2 (1宮崎大農・2宮崎畜試)
P20	機械収穫に適した子実用トウモロコシ品種の条件検討 ○森田聡一郎・赤松佑紀・住田憲俊・阿部佳之・菅野 勉 (農研機構畜産研究部門)
P21	RTK-GPSと自動操舵装置を活用したトウモロコシ不耕起播種における直進性・等間隔性の確保 ○高野 浩・太田耶子・二俣 翔・佐藤克昭 (静岡畜技研)
P22	ローズグラスリビングマルチ体系による粗飼料用ダイズの収量性 ○石垣元気1・瓜生好絵2・新美光弘1・明石 良1・福山喜一1 (1宮崎大・2宮崎大院)
P23	福島県の飼料稲生産組織へのトウモロコシ生産技術導入 ○住田憲俊・阿部佳之 (農研機構畜産部門)
P24	福島県の営農再開酪農場における飼料作物生産技術実証 一 牧草中の放射性セシウム濃度とカリウム濃度の推移一 (第2報) ○住田憲俊1・天羽弘一2・小島陽一郎1・阿部佳之1 (1農研機構畜産部門・2農研機構革新工学研)
P25	草地用ロボットトラクタによる牧草生産技術の開発 2. 草地作業におけるロボットトラクタの走行特性 ○関口建二1・横山和寿2・白藤大貴2・岩瀬卓也2・須藤賢司3・渡辺也恭4・鎌形哲稔5 (1道総研十勝農試・2ヤンマー(株)・3農研機構北農研・4農研機構西日本農研・5国際航業(株))
P26	ペレニアルライグラスにおける道東での越冬性に関連する要因 ○佐々木 亨1・平田 愛1・杉田紳一2・角谷芳樹3・佐藤公一4・藤井弘毅5 (1日草種協 北海道支所・2日草種協 飼作研・3根釧農試・4道総研畜試・5北見農試)
P27	チカラシバの種子による繁殖抑制には出穂から2週間以内の刈払いが有効である ○北川美弥 (農研機構畜産部門)
P28	不耕起播種機による草地更新の省力化 ○塩沢道明1・加藤信夫1・土方浩嗣2・大野和之1・川口 優1・加藤知寿子1・畑中巧也1・梅澤伸弥1 (1家改セ茨城牧場長野支場・2家改セ十勝牧場)
P29	3Dモデルを用いたトウモロコシの収量および倒伏度合いの調査法の予備検討 ○二門 世・林 拓 (道総研上川農試天北支場)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月26日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表 (10階 ホール)

奇数番号コアタイム： 3月25日 11:00~12:00
偶数番号コアタイム： 3月26日 11:00~12:00

3. 放牧・家畜管理・行動

P30	高糖含量オーチャードグラスの嗜好性 ○梅村和弘・眞田康治 (北農研)
P31	植物種多様性の高い放牧地におけるウシの血中養分の特徴 ○小倉振一郎1・高見澤真太1・八代田真人2・川村健介3・中野美和4・宍戸哲郎1 (1東北大学大学院農学研究科・2岐阜大学応用生物科学部・3国際農業研究センター・4農研機構西日本農業研究センター)
P32	ウェアラブルカメラを用いた放牧牛の摂食行動モニタリング：多様な植生下での放牧牛の摂食様式の解析 ○二階莉紗1・八代田真人2・宍戸哲郎1・小倉振一郎1 (1東北大学大学院農学研究科・2岐阜大学応用生物科学部)
P33	放牧地の植物種数の違いが放牧ヤギの栄養摂取および反芻胃内消化率に及ぼす影響 田宮早恵1・○八代田真人1・土井和也2・中嶋紀覚2・川村健介3・小倉振一郎4 (1岐阜大学応用生物科学部・2岐阜大学連合大学院農学研究科・3国際農林水産業研究センター・4東北大学大学院農学研究科)
P34	Fixed-time data segmentation and behavior classification of pasture-based livestock: Enhancing performance using random forest (RF) ○ Gou Xiaowei1・ Atsushi Tsunekawa2・ Peng Fei3・ Zhao Xueyong4・ Li Yulin4・ Lian Jie4 (1The United Graduate School of Agricultural Sciences・2Arid Land Research Center・3International Platform for Dryland Research and Education, Tottori University・4Naiman Desertification Research Station, Northwest Institute of Eco-Environment and Resources, Chinese Academy of Sciences)
P35	Nitrogen utilization by Simmental crossbred calves fed with a mixed oat- and alfalfa-hay-based diet ○Wuchen DU1・Atsushi TSUNEKAWA3・Fujiang HOU4・Toshiyoshi ICHINOHE1・Nobuyuki KOBAYASHI5・Fei PENG 2 (1UGSAS, Tottori University・3ALRC, Tottori University・4Lanzhou University・5Shimane Univeristy・2IPDRE, Tottori University)
P36	耕作放棄地への5年間のヤギの放牧が植物の多様性に及ぼす影響 ○土井和也1・田宮早恵2・中嶋紀覚1・八代田真人3 (1岐阜大・院・連農・2岐阜大・院・応生・3岐阜大・応生)
P37	放牧酪農家に対するイアコーンサイレージ給与が夏季の乳生産に及ぼす影響 ○三谷朋弘1・朝隈貞樹2・上田靖子2・青木康浩2・上田宏一郎3・大下友子2 (1北大FSC・2北農研センター・3北大院農)
P38	中山間地耕作放棄地放牧がヒツジのストレス・免疫に与える影響 ○浅野桂吾・高松英里奈・沼田 華・新田桃代・石田元彦 (石川県大)
P39	めん羊によるリードカナリーグラス茎葉部の採食特性 ○時田昇臣・池上 瞳・市川ひとみ・大多和章子・門岡 航・山崎世使子 (日獣大)

4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P40	粳米サイレージを用いた黒毛和種繁殖牛の分娩前後の飼料コスト低減 ○河本英憲・志水 学・米内美晴・伊賀浩輔 (東北農研)
P41	Brix糖度計を用いた極短穂品種「たちあやか」における糖分含量の簡易推定法 ○森田昌孝1・阿部脩平2・吉田修一2・菅原賢一1 (1宮城畜試・2宮城古川農試)
P42	紫黒米の給与がヒツジの飼料消化性、第一胃内性状および酸化ストレスマーカーに及ぼす影響 ○細田謙次1・宮地 慎2・松山裕城3 (1九州沖縄農業研究センター・2北海道農業研究センター・3山形大学)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月26日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表 (10階 ホール)

奇数番号コアタイム: 3月25日 11:00~12:00
偶数番号コアタイム: 3月26日 11:00~12:00

4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P43	ワカメサイレージの発酵品質と化学組成に及ぼす稲わら、飼料用米およびビール粕の混合割合と乳酸菌の添加効果 ○大竹秀男1・原 楓1・田川伸一2・金藤克也3 (1宮城大食産・2清水港飼料(株)・3さとうみファーム)
P44	サイレージから放散されるアンモニアガスを利用した発酵品質評価手法の開発 ○中川 脩1・池田四郎1・海福雄一郎1・中村亜衣1・折原健太郎2 (1株式会社ガステック・2神奈川県畜産技術センター)
P45	無破碎粉米の飼料用調製作業技術およびコストの検討 ○井上秀彦・川出哲生・遠野雅徳・神谷裕子・江口研太郎 (農研機構畜産研究部門)
P46	トウモロコシ可溶性炭水化物測定に対する改変アンスロン法の適応 ○篠田英史 (雪印種苗株式会社)
P47	本邦亜熱帯地域におけるソルゴー型ソルガムの生育段階毎のサイレージ特性 ○今井裕理子1・赤嶺 光2・山本菜月2・川本康博2 (1ヤンマー(株)・2琉大農)
P48	<i>Lactobacillus diolivorans</i> SBS0007株添加がとうもろこしサイレージの開封後の発熱に及ぼす影響とその要因解析 ○本間 満2・西道由紀子1・窪田明日香1・谷口大樹2・北村 亨2 (1道総研根釧農試・2雪印種苗(株))
P49	実規模サイロにおける <i>Lactobacillus diolivorans</i> SBS0007株添加がとうもろこしサイレージの酢酸含量および開封後の発熱に及ぼす影響 ○西道由紀子1・窪田明日香1・本間 満2・柴山草太2・北村 亨2 (1道総研根釧農試・2雪印種苗(株))
P50	<i>Lactobacillus diolivorans</i> SBS0007株の添加が細断型ロールペールサイレージの酵母数および好氣的条件下での発熱に及ぼす影響 ○窪田明日香1・西道由紀子1・本間 満2・北村 亨2 (1道総研根釧農試・2雪印種苗(株))
P51	<i>Lactobacillus diolivorans</i> SBS0007株のとうもろこしサイレージへの添加が乳牛の自由採食量およびTMR調製後の発熱に及ぼす影響 ○西道由紀子1・窪田明日香1・本間 満2・北村 亨2 (1道総研根釧農試・2雪印種苗(株))
P52	大規模生産地におけるイアコーンサイレージ収量の圃場間変動 ○根本英子1・大下友子1・上田靖子1・矢島 昂1・青木康浩1・浦 敏男2 (1農研機構北農研・2(有)ジェネシス美瑛)
P53	WHITE ROT FUNGI TREATMENT TO BAGASSE RESIDUE UNDER UNCONTROLLED TEMPERATE CONDITION ○Stanford Muyila1・花田正明1・村井慎平1・山川政明2 (1帯広畜大・2道総研畜試)
P54	暖地型イネ科牧草リビングマルチ体系による飼料用ダイズ生産技術の開発—ローズグラスと混播した飼料用ダイズを調製したサイレージの発酵品質— ○新美光弘1・石垣元気1・寺田 優1・橋本芽依1・瓜生好絵2・明石 良1・石井康之1・福山喜一1 (1宮崎大農・2宮崎大院農)
P55	ハイモイスターシェルドコーンによる圧ペントウモロコシの代替が泌乳牛の消化率、窒素出納および飼養成績に及ぼす影響 ○多田慎吾・青木康浩・宮地 慎・矢島 昂・上田靖子 (農研機構北農研)
P56	乳酸菌製剤を添加したトウモロコシサイレージの発酵品質および泌乳牛における養分摂取量、栄養価ならびに乳生産に及ぼす影響 ○西村慶子1・榎 真由子2 (1宮崎畜試・2ラレマンドバイオテック(株))
P85	飼料用大豆の品種別の成分含量およびサイレージ適性評価 ○神園巴美・嶋野英子・内野 宙・魚住 順・出口 新・河本英憲 (東北農業研究センター)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月26日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されている
ポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表 (10階 ホール)

奇数番号コアタイム： 3月25日 11:00~12:00
偶数番号コアタイム： 3月26日 11:00~12:00

5. 生理・形態・病理・昆虫

- | | |
|-----|---|
| P57 | 湛水処理がトウモロコシおよびテオシントの根系およびリン吸収に及ぼす影響
○赤松佑紀・間野吉郎・森田聡一郎・菅野 勉 (農研機構畜産研究部門) |
| P58 | トウモロコシ根腐病菌 (<i>Pythium arrhenomanes</i>) の簡易凍結保存の試み
○菅原幸哉1・三ツ橋昇平1・増中 章2・玉置宏之1・小板橋基夫1 (1農研機構 畜産研究部門・2農研機構西日本農業研究センター) |

6. 育種

- | | |
|-----|--|
| P59 | イタリアンライグラス新品種「クワトロ-TK5」の東北日本海側および北陸地域での生産性 (1年目)
○久保田明人1・藤森雅博1・菅 和寛2・小橋有里3・長谷川昌伸3・稲葉 真4・小嶋裕子4・井川育昌5 (1東北農研・2山形畜試・3新潟畜研・4富山畜研・5石川畜試) |
| P60 | エンドファイト感染フェストロリウムの幼苗での感染率 (2)
○久保田明人・藤森雅博 (東北農研) |
| P61 | ドローンと画像解析を利用した簡易牧草個体選抜
○秋山征夫1・久保田明人2・藤森雅博2・眞田康治1 (1農研機構北農研・2農研機構東北農研) |
| P62 | ソルガムコアコレクションを用いた出穂/開花特性の日印比較
○野口友嗣1・Sivakumar Subbarayan2・奥泉久人3 (1茨城工技セ・2Tamil Nadu農大・3農研機構遺伝資源センター) |
| P63 | 寒地型イネ科牧草におけるペレニアルライグラス「東北7号PR」の越夏性と収量性
○藤森雅博・久保田明人 (東北農研) |
| P64 | ペレニアルライグラス「東北7号PR」の地域適応性試験
○藤森雅博1・秋山征夫2・上山泰史3・久保田明人1 (1東北農研・2北農研・3畜産部門) |
| P65 | トウモロコシ早生化QTLの集積とその効果
○黄川田智洋1・佐藤 尚1・伊東栄作2・濃沼圭一3・村木正則2・玉置宏之3・三ツ橋昇平3・山岡康子4・川口 優5・榎 宏征6 (1農研機構北農研・2農研機構九沖農研・3農研機構畜産研究部門・4家畜改良センター熊本牧場・5家畜改良センター茨城牧場長野支場・6トヨタ自動車(株)) |
| P66 | ワラビー萎縮症及び南方さび病抵抗性飼料用トウモロコシ新品種「なつひむか」
○村木正則・伊東栄作 (農研機構九沖農研) |
| P67 | 南方さび病抵抗性で晩播できる早生の飼料用トウモロコシ新品種「さとみどり」
○村木正則・伊東栄作 (農研機構九沖農研) |
| P68 | 共生糸状菌 (<i>Epichloë uncinata</i>) が感染したイタリアンライグラスにおいて後代種子への菌の移行に影響する宿主植物の遺伝的要因 (1)
○吉田信代1・清 多佳子1・杉田紳一2・佐々木 亨2・菅原幸哉1 (1農研機構畜産研究部門・2日本草地畜産種子協会) |
| P69 | バヒアグラスにおけるリグニン生合成に関与する CADおよびCOMT遺伝子の単離とその解析
○山田智仁1・権藤崇裕2・明石 良1 (1宮崎大農学部・2宮崎大フロンティア) |
| P70 | 高採種性イタリアンライグラスの育成に資する関連形質の調査
○川口 優1・櫻井光一1・相川 誠1・岩田康男2・関根 平2 (1家畜改良センター茨城牧場長野支場・2雪印種苗株式会社) |
| P71 | ガレガ「北海1号」の系統特性
○佐藤広子1・奥村健治1・竹田芳彦2・大塚博志2・岩淵 慶2・安達美江子2・廣井清貞1 (1農研機構北農研・2ホクレン) |

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月26日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表 (10階 ホール)

奇数番号コアタイム: 3月25日 11:00~12:00
偶数番号コアタイム: 3月26日 11:00~12:00

6. 育種

- P72 幼苗時の硝酸態窒素濃度を指標として育成したスーダングラス系統の選抜効果
○川地太兵・須永義人 (農研機構畜産研究部門)
- P73 Characteristics of seed propagation on BC1F1 progeny of interspecific hybridization between diploid *Brachiaria ruziziensis* and tetraploid *Brachiaria decumbens*
○Yogi Sidik Prasojol・Genki Ishigaki²・Pattama Nitthaisong²・Ryo Akashi² (1宮崎大学農学工学総合研究科・2宮崎大学農学部)
- P74 関東北部におけるペレニアルライグラス育成系統「東北7号PR」の越夏性と夏季収量
○清 多佳子・内山和宏・上山泰史 (農研機構 畜産研究部門)
- P75 イタリアンライグラスにおけるいもち病抵抗性の幼苗接種検定による選抜効果
○荒川 明¹・桂 真昭¹・高井智之¹・上床修弘¹・松岡 誠¹・波多野哲也¹・平八重一之¹・笹谷孝英²・園田亮一¹・川上 顕¹・宮坂 篤¹ (1農研機構九沖農研・2農研機構本部)
- P76 フェストロリウム種子生産における収穫適期簡易判定法の確立に関する研究
○加藤知寿子・大野和之・塩沢道明・早坂邦昭・櫻井光一 (家改セ茨城牧場長野支場)

7. 土壌・肥料

- P77 完全更新法、表層攪拌法、作溝法で更新した採草地の温暖化ポテンシャル
○森 昭憲 (農研機構畜産研究部門)
- P78 堆肥、スラリー、消化液の施用が那須の飼料畑から発生する温室効果ガスに及ぼす短期的影響
○森 昭憲 (農研機構畜産研究部門)
- P79 A new index for mapping moss-dominated biological soil crusts in semi-arid regions
○Chen Xiang¹・Liu Shulin¹・Peng Fei¹・恒川篤史²・Wang Tao¹ (1NIEER, CAS・2Tottori University)
- P80 飼料畑土壌における牛ふん堆肥の炭素分解特性
○須永義人¹・原田久富美²・新美 洋³・出口 新⁴・川地太兵¹ (1農研機構畜産研究部門・2農研機構本部・3農研機構九州沖縄農研・4農研機構東北農研)

8. その他

- P81 北海道道央地方のI農業高校における草地教育
○佐々木章晴 (北海道岩見沢農業高等学校・北海道大学農学院)

9. 高校生 (コアタイムは番号に関わらず、3月26日 11:00~12:00です)

- P82 採草地放牧を用いた球磨型繁殖牛飼養管理技術の確立を目指して
○早田友紀・椎葉悠莉乃・小田春希・豊永杏李・藤本梨沙・續山晃大・福屋直希 (熊本県立南稜高等学校)
- P83 エコフィードを利用した環境に優しい養豚経営
○檜橋真奈美・山崎奈々美 (熊本県立熊本農業高校)
- P84 反射光スペクトルによる草地の植生構造および乾物草量と牧草体成分の推定
○阿部安寿志¹・佐藤正義¹・池本 可¹・市川遥香¹・酒井岳琉¹・高原 涼¹・道端成美¹・伊藤美憂¹・近藤幸汰¹・佐々木海人¹・田中優翔¹・萩原奎太¹・村田 陸¹・佐々木章晴¹・内田 勝¹・成瀬延康² (1北海道岩見沢農業高等学校・2滋賀医科大学)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月26日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。